

# 帝國議會衆議院勸業銀行法案委員會速記錄

(第一二號)

明治二十九年二月四日午前十時四十五分開議

キマス

○委員長(石田實之助君) 第二回ノ會議ヲ是ヨリ開キマス、第一回ニ引續キ、質問會ニ掛カルノデゴザイマスガ、此質問ノ發言許可ノ順序ニ於キマシテハ、私ノ考ヘデハ、新案ノコトデモアリマスカラ、御一人ノ質問ガアレバ、其質問ノ終ルヲ待ツテ、然ル後ニ他ノ質問ノ事項ニ移リマセウト思ヒマス、サウシマセヌト、甲ト乙ト一緒ニシマスルト多岐ニ涉ツテ、ドナタモ御不便デアラウト思ヒマス、或ハ又筆記錄ノ上ニ遺リマシテモ甚ダ複雜スル恐レガアリマス、或ハ一人ノミニ許可ヲ與ヘルヤウナ感ジガアリマシテモ、左様致方ガ便利デアラウト考ヘマスシ、ソレヨリ又唯今總體論デアリマスガ、農工銀行ト本案ト今質問中ノトハ關聯致シテ居ル箇條モゴザイマスカラ、總體ニ就イテハ、矢張リ唯今勸業銀行法案ニ就イテノ質問ト致シタイト考ヘマスカラ左様御承知ヲ請ヒマス

○(河島醇君) 本員ハ第一回ノ會議ノ速記錄ニ向シテ少シク正誤ヲ致シタイコトガアリマス、本員ガ前回ニ於テ述べマシタ所ノ、此速記錄上ニ「日本銀行ハ十四年前ニ設立セラレ」ソレカラ十四年ト云フ處ガマダ二三箇所外ニモアリマスガ、其十四年ト云フ字ハ十餘年ト云フ積リデアリマスカラ、是ヲ正誤致シマス、ソレカラ其次ニ「日本銀行ノ定款中ニ重役會議ノ明文アリ今此法案中其明文ナシ」ト云フコトヲ言フタ所ガ、此速記錄ニハ「日本銀行ノ定款即チアレヲ以テ觀レバアノ中ニハ重役會ト云フモノハナイ」カウ云フヤウナ風ニナツテ居リマスカラ前ニ述べタヤウニ正誤ヲ致シテ置キマス、即チ「日本銀行ノ定款中ニ重役會議ノ明文アリ今此法案中其明文ナシ」ト云フノデアルソレ故ニ差支ヘルト云フコトヲ言フタノデアル、ソレカラゼるうおちうとノ譯ハ、收益權トアリマス、併ナガラ是ハ地役權ノ誤リデアリマスカラ、地役權ト正誤ヲ致シマス、ソレカラ此貸付方法ノ事ニ就イテ、例ヘバ實價百圓ノ物件ニ對シテ其三分ノ二、即チ六十六圓餘ヲ貸付、其貸付額即チ十六圓餘ニ對シテ同額ノ債券ヲ發行ス、斯ウ云フコトヲ述ベタガ、速記ニハ六十何圓ニ對シテ百圓ノ債券ヲ發行ス、斯ウ云フコトヲ述ベタガ、速記ニハデゴザイマス、ソレカラ其後ニ抵當ヲ二重抵當ニスル、其二重抵當ト云フコトヲ附帶抵當トシテアリマスガ、是ハ二重抵當ノ誤リデアリマス、則チ農業味デ、恰モ日本銀行ト各銀行ノ間ニ於ケル再割引法ノ如キ手數ニシタナラドウデアラウカト云フガ、即チ意見デアツクノデアル、是ダケヲ正誤致シテ置

○政府委員(添田壽一君) 唯今河島君カラ御正誤ガゴザイマシタカラ、序デナガラ私モ少シク此筆記ノ誤リヲ直シテ戴キタインデアリマス、其文字ノ修正ニ至リマシテハ別ニ認メマシテ、速記課ノ方へ迴ハシテ置キマシタカラ、多分追加セラル、コト、思ヒマスル故、サウ云フくだくシイコトハ申上げマセヌノデアリマス、今日殊更ニ申上げタイノハ、此前少シク大藏次官ト打合セヲ致シテ居リマシタリシマシタ混雜ノ際ニ、少シク河島君ノ御問ヲ解シ誤リマシタタメニ、返答ガ其當ヲ得ナイ所ガゴザイマスカラ、訂正旁申上げテ置キマス、當日河島君ノ御尋ハ、所謂自治團體ガ定期償還貸附ヲ受ケタ時ニハ無抵當デアルガ、ソレニ對シテ債券ヲ發行シナイノデアルカト云フ御尋ト解シマシテ、第一號ノ速記錄ノ五頁ノ所ニ、ソレハ債券ヲ發行致シマセヌト答ヘテゴザイマスルガ、尙能ク河島君ノ御尋ヲ速記錄ニ依ソテ拜見ヲ致シテ見マスルト、彼ノ年賦償還ノコトニモ關シテ居ルノデゴザイマスガ、其年賦償還ニ就キマシテハ、其貸附ニ就キマシテハ、債券ヲ發行致シマスノデアリマス、然ラバ河島君ノ御疑問ノ甚ダ不確實デハナイカ、唯議決ヲ目當テニスルト云フ不安心ナコトハナイカト云フノ御尋ニ對シテノ御答ヲ申上げナケレハナラヌノデスガ、ソレハ不確實デハナイト云フ考デアリマス、ナゼナラバ此府縣郡市町村其他ノ自治團體ト云フモノハ、法律ニ依リマシテ稅ヲ賦課シマスル權力ヲ持テ居リマスレバ、是ハ先づ法律ノ變ルマデハ、永久ノ團體デゴザイマスルカラデアリマス、故ニ若シ返済金ナドガ滞リマシタ時ハ、殊更ニ其便ヲ計リマシテ、勸業銀行法ノ第二十八條ニ明ニ此救濟法ガ設ケテアルノデアリマシテ、則チ返済ガ滯リマシタ時ニハ、勸業銀行ハ所謂監督官廳ニ其仕拂ヲ爲サシムルコトノ請求ヲスル力ガ與ヘテアリマシテ、其請求ヲ受ケマスレバ、例ヘバ市町村制ノ中デ、先づ市制ノ第百十八條ヲ御覽ニナリマシテモ明カデゴザイマスガ、斯ノ如キコトガ書イテアルノデアリマス、然ラバ、定期償還貸附ヲ何ゼ債券發行ノ基礎トセヌカト云フ御尋ガ

○(河島醇君) 本員ハ第一回ノ會議ノ速記錄ニ向シテ少シク正誤ヲ致シタイコトガアリマス、本員ガ前回ニ於テ述べマシタ所ノ、此速記錄上ニ「日本銀行ノ定額豫算ニ載セス又ハ臨時之ヲ承認セス又ハ實行セシム可シ云々」トアリマス、郡制ノ第七十六條、水利組合條例ノ第五十一條ノ第二項ニモ、是ト同様ノ規定ガゴザイマスルガ故ニ、不安心デハナイト認メタノデアリマス、然ラバ、定期償還貸附ヲ何ゼ債券發行ノ基礎トセヌカト云フ御尋ガ

○(河島醇君) 本員ハ第一回ノ會議ノ速記錄ニ向シテ少シク正誤ヲ致シタイコトガアリマス、本員ガ前回ニ於テ述べマシタ所ノ、此速記錄上ニ「日本銀行ノ定額豫算ニ載セス又ハ臨時之ヲ承認セス又ハ實行セシム可シ云々」トアリマス、郡制ノ第七十六條、水利組合條例ノ第五十一條ノ第二項ニモ、是ト同様ノ規定ガゴザイマスルガ故ニ、不安心デハナイト認メタノデアリマス、然ラバ、定期償還貸附ヲ何ゼ債券發行ノ基礎トセヌカト云フ御尋ガ

残リマスルデゴザイマスルガ、是ハ自ラ期限モ極マラヌモノニアリマシテ、從ツテ放下賦償還ノ如ク分ツテ償還ヲシナイモノデゴザイマスカラ、債券ノ抵償トナスベキモノデナイト云フ理由ニ基キマシタノデアリマス、一寸其事ダケヲ訂正旁申上ゲテ置キマス

○(河島醇君) 今政府委員添田君カラノ追加答辯ニ對シテ質問ヲセナインデハナリマセヌ、本員ガ今ノ追加答辯ニ對シテ質問ヲ要スルノハ外デハナイ、今

ノ御説明ハ能ク分ツタ、則チ本員ノ問フタコトハソレデアツタノデアリマス、決シテ地方團体即チ法律ノ制裁アル團体ニ貸附ケルノガ不確實デアルト云フコトデナイ、唯抵當ノコトヲ問フタ所ガ、即チ前ニ答ヘラレタ所ト、唯今答辯セラレタノハ理由ガ違フ、ソレハ承知致シマシタ、所ガ此法律案ヲ以テ見ルト、債券發行權ト云フモノガアル、則チ特權ニナツテ居ル、此債券發行權ガ二種ニナツテ居ル、一ハ勸業債券ト云フコトガ一ツデアツテ、若シ舊發シタ債券ヲ書替ヘルタメニ繰替ヘルタメニ、新債券ヲ起スト云フコトガアル、此債券ノ二種ヲ以テ見レバ自ラ違フト思フ、一ハ獨逸ナドニアル所ノぶあんごぶりーふデアル、ぶあんごぶりーふト云フモノハナンデアルカト云フト、是ハ抵當證券ト云フ意味ヲ持テ居ルノデアル、抵當物件ニ對スル證書ト云フ意味デアル、ソレガ則チ斯ノ如ク銀行ノ發行スベキ所ノ債券デアルノデ、唯普通債券ト云フト、銀行ノ信用ニ依ツテ募集スルモノヲ名付ケテ之ヲ債券ト云ハナケレバナラヌ、併シ是ニハ區別ガナイ、唯債券トアルノデアル、債券ト云フ字ハ獨逸テ申シマスレーベでんしゃいんト云フ字デ、負債トカナントカ云フ意味ヲ持ツデアラウ思フ、ケレドモぶあんごぶりーふ即チ抵當ト云フモノト、債券ト云フモノハ、自ラ區別ガナケレバナラヌ、一寸是デハ區別ガ分ラナイ、ソコデ先刻ノ御説明ニ照シテ見レバ、ぶあんごぶりーふ抵當券ト云フモノハナイガ、無形物ノ抵當券ハ發スルコトガ出來ルヤ否ヤガ疑問デアル、償却ノ出來ルベキモノニアリ、信用スベキモノデアルカ、之ヲ信用貸ヲスルガ惡イトハ言ハナイ、即チぶあんごぶりーふ所謂抵當證券ヲ發スルモノナリヤ否ヤヲ聞イタノデアリマス

○政府委員(添田壽一君) 勸業銀行法案ニゴザイマスル債券ト云フモノハ、我國固有ノ文字ノ積リデアリマス、然ルニ彼ノ條例第三十四條二十倍ノ債券發行額ガ定メテアリマスルガ、其但書ニ於テ、年賦償還貸附ノ總高、及其引受ヶタル農工債券現在高ヲ超過スルコトヲ得ズト規定シテアリマシテ、其結果トシテ、成ルベク此債券ニハ確カナル抵當物、若クハ其他ノ抵償ガナケラネバナラヌト云フコトヲ明カニ示シテ居ルデアリマシテ、必ズ例ヘバ土地トカ家屋トカ云フ有形ナルモノバカリニ限ツタ譯デアルノデアリマシテ、獨リアル位デアリマスルカラ、強チ獨逸アタリデ所謂ぶあんごぶりーふナルモノト同一デハナイ積リデアリマス

○(門脇重雄君) 此勸業銀行ハ設備ノ規模モ大ニゴザイマシテ、從ツテ放下スル所ノ資本モ多額ノ資本ヲ放下スルモノデアルト認メテ居リマス、又農工銀行ハ反對デ其規模モ小デアリマシテ、放下スル所ノ資本モ亦少ケナイモノト認メテ居リマスガ、其勸業銀行ノ貸附ケル所ノ大ナル貸附金、農工銀行ノ貸附ケル所ノ小ナル貸附金、是等ノ大小ノ區別ハ、如何ナル金額ヲ目的トシテ區別スル立案ノ趣旨デアリマスカ

○政府委員(添田壽一君) 勸業銀行ハ自ラ大ナル事業——大仕掛ノ事業、農工銀行ハ割合ニ小ナルモノヲ目途ト致スト云フ積リデハゴザイマスルガ、其分界ニ至リマシテハ、強チ金何圓トカ云フ如キ明カナル員數ヲ以テ區別スルマデノ腹案ヲ立テ、ハ居ラヌノデアリマシテ、事實上ニ於テ則チ此二ツノ銀行ガ實際働く上カラ自ラ分業ガ行ハレマシテ其結果トシテ分レルモノデアラウト云フ心念ヲ持ツテ居ル丈デアリマス

○(名倉次君) 此農工銀行、勸業銀行、兩方トモニ水產ノモノガ何ニモ這入ッテ居ラヌノハドウ云フ譯デスカ、農工丈ニ限ツテ水產ト云フモノヲ加ヘテナイノハ、水產ト云フモノハ、如何ナル法律デ其補助ヲ與ヘテモ發達スルト云フ御考カ、又ハ其發達ヲ圖ラヌデモ宜イト云フ御考デアリマスカ  
○政府委員(添田壽一君) 水產ノ我國ノ經濟ノ上ニ於テ大切デアルト云フコトハ、深ク信ズルノデアリマス、然ルニ御承知ノ通リニ水產ト云フ事業ニ從事スルモノハ、隨分此銀行ニ依ラナイデモ、他ニ資金ヲ得ル途モ農業工業ヨリハ餘計ニアルト云フ考ヘデアリマスルシ、且又水產ノ如キハ、隨分ソリヤ確實ノモノモ中ニハアリマセウケレドモ、農業、工業ノ如キ、絶エズ確カニ收益ヲ見ルト云フコトガ難イ場合ガ多イト信ジマス、故ニ此二ツノ法律カラハ除イタ譯デアリマス  
○(名倉次君) 今一ツ御尋致シマスガ、製造ト云フモノハ、無論此法律ノ中ニ意味シテ居ラヌノデスカ、製造ト云フモノニハ補助ヲ與ヘナイト云フ精神デスカ、無論明文ガナイカラ、サウ見テ宜ウゴザイマスカ  
○政府委員(添田壽一君) 製造ト云フ意味ハ、ドウ云フ意味デアルカ知レマセヌガ、工作物製作ノコトデゴザイマスレバ、矢張其法律ノ中ニ這入ル積リデアリマス  
○政府委員(添田壽一君) 左様デゴザイマス積リデゴザイマス  
○(喜多川孝經君) 過日、河島君カラ夫々御質問ニナリマシテ、大体ハ了解致シマシタガ、尙此大体ニ就イテ多少疑點ノ存スルモノガゴザイマスカラ、少シ承リタイト思ヒマス、第一農業ト工業ハ、資本融通等ニ於テ長期ヲ要スルモノト、短期ヲ要スルモノト自ラ異ニシテアルヤウデゴザイマスガ、然ルニ之ヲ同一ノ銀行ニ於テ便宜ヲ計ラウトスルトキニハ、或ハ偏重偏輕ノコト

ヲ來タシテ、爲メニ完全ノ利益ヲ擧グルコトガ出來ナイト云フ憂ガナイカト  
云フコトデ、ソレカラ第二ニハ、舊來農工改良等ノ事業、即チ農工銀行法案  
第七條ニ掲タル事業等ノタメニ出シマシタル所ノ債務デナケレバ還サヌト云フ  
コトハ、過日本會ニ於テ御答辯ニナツタヤウニ伺ヒマシタガ、縱令其債務ガ事  
情已ムヲ得又所カラ生ジテ居リマスルモノデ、今一例ヲ擧ゲテ見マスルト云  
フト、地租改正ノ際ニ山ナドノ——共有ノ山林ナドヲ澤山所有シテ居ル村落、  
其村落ノモノガ共有山林ニ依ツテ中以下ノモノガ生計ヲ立ツテ居ツタ、ソレ  
ヲ地租改正ノ際ニ官有ニセラレタタメニ、或ハ中以下ノモノガ生計ヲ失ツテ、  
今日ハ餘程借財シタト云フ事實ガアル、又マア私ドモノ方ハ隨分茶ノアル所  
デスガ、茶ガ段々不引合ニナツタタメニ——大ニ茶ニ力ヲ入レタタメニ、其  
趨勢ガ變ツタタメニ、非常ニ借財ヲ擧ヘタト云フコトガアリマスガ、ソレカ  
ラ水害等ノタメニ借財ヲ起シ、或ハ川ノ附換ノタメニ所有ノ土地ヲ買上ゲラ  
レ、其代金ヲ得タルモ、土地ガ金ト變リタルタメ、種々ノ事業ニ手ヲ出シ失  
敗シテ、借財ヲ起シタト云フヤウナモノガ、今更ニ業ヲ換ヘンケレバ、再ビ  
元ニ復スルコトガ出來ヌト云フ所デアツテ、而カモ資本ガ無イタメニイケヌ  
ト云フ類ノ借財モ、尙土地改良等ノタメニ起シタモノデナイカラ、貸サヌト  
云フ御趣意デアルヤ、ソレカラ若シ又其抵當物ノ餘裕ガアレバ、將來ノ事業  
ニ於テ所謂土地改良等ノコトヲ圖ルタメニ要スルコトヲ含シテ居ルトキハ、  
之ヲ貸與ヘルト云フコトモ出來マスカ、出來マセヌカト云フコトヲ御尋ヲ致  
シマス、此二ツニ就イテ御答辯ヲ願ヒマス

○政府委員(添田壽一君) 始メノ御尋ハ此勸業農工兩銀行法案ニ於テ、農業  
ノミナラズ工業モ目的トスルノハドウ云フ譯デアルカト云フ、御尋ノヤウニ  
解シマシタガ……

○(喜多川孝經君) サウデハナイノデ、農業ト工業トハ自ラ資本ノ運用ナド  
ニ於テ、是非永年デナケレバイケヌト云フ特性ノモノデアル、ソレカラ資本  
ヲ頻繁ニ要スルタメニ、隨分定期貸デ事足リルモノト、斯ウ各々農工ニ就イ  
テハ特性ガ異ツテ居ルヤウニ思フ、ソレヲ同一銀行ニ於テ取扱フトキニハ、  
銀行事務ナリ、資本使用ナリノ上ニ於テ、偏重偏輕ヲ來スノ憂ガナイカト云  
フ意味デアリマス

○政府委員(添田壽一君) 此二ツノ法案ノ農業工業ヲ共ニ目的ト致シマスル  
所以ハ、成程農業ハ一般ノ工業ヨリハ期限ノ長キ資本ヲ要スルノデゴザイマ  
スケレドモ、隨分農事ノ上ニ必要ナル事業ト雖モ極ク期限ノ短キモノモアリ  
得ル、ソレト同ジ様ナ譯デ、工業上ニ於テモ隨分長ク期限ヲ要スル場合モア  
リマスル故ニ、農業工業ニ拘ラズ期限ノ長キ資本ヲ要スル場合ニハ、此銀行  
ガ資金ヲ供給スルト云フコトハ、生產獎勵ノタメニ必要デアルト認メタ故ニ、  
兩方共ニ此二ノ銀行ノ目的トシタノデアリマス、殊ニ御考ヲ願ヒタインハ、我  
國ノ工業ト云フモノハ、既ニ發達シタル國ノ工事トハ異リマシテ、是ハ例ヘ  
バ紡績トカ申スセウナモノデハ別デゴザリマスルケレドモ、或ハ羽二重ニシ  
ロ、生絲ニシロ、重要ナル我國ノ工業上ニ於テ、矢張毎戸製造ト云フコト  
ガ、今日ニ於テハ餘程多數ヲ占メテ居リマス、ソレ等ノ上ニハドウモ此法律  
ノ如キ機關ヲ以テ對スルガ必要デアルト認メマシテ、工業モ認メマシタル譯デ  
アリマス、第二ノ御尋ノ例ヘハ茶烟ヲ切り拓イタガタメニ起ツタ負債トカ、  
張此農工銀行法ノ第七條ニ六ツバカリ舉ゲテアル中ニ這入ラナケレバ、第七  
項ノ前各項ノ外農工業ノ改良ト云フモノニ這入り得ルト思ヒマスカラ、ソレ  
等ノタメニ生ジタル舊債ノ償還ニ必要ナル資金ノ供給ハ差支ナイト思ヒマス  
カ、惟フニ法人ノ爲ス所ノ仕事ハ事業ガ稍ミ大ナルガ故ニ、此勸業銀行カ  
ラ貸スト云フコトデアラウカト思ヒマスガ、若シサウデアレバ或ハ法人デア  
ルカラト言ツテ、必ズシモ大金ヲ借リルト云フコトニ極リハシマスマイガ、  
是ニハ何カ程度ト云フヤウナモノヲ御定メニナルカ、若シ御定メニナリマス  
ナラバ、其程度ヲ一應承ツテ置キタイ

○政府委員(添田壽一君) 屢々申上げマシタ如ク、此農工銀行ハ成ルベク地  
方ノ小サナル事業ニ必要ナル資本ヲ供給サセタイト云フ希望ヨリ、地方團體  
ノ如キニ向ツテ信用貸ヲスルト云フコトヲ省イタノデアリマス、今御尋ノ中  
ニ自然私ノ申上ゲルコトハ見エテ居ルヤウデゴザリマスガ、此地方團體ガ負  
債ヲ起シマスル場合ハ、各々其法律ノ上ニ於テ自ラ制限ガゴザリマシテ、言  
ハセ自治團體ノ永久ノ利益トナルベキトカ、年々ノ歲入デハ及バナイトカ  
云フヤウナ大工事大事業デアリマスル故ニ、是ハ寧ロ勸業銀行ガ主トシテ相  
手トスベキモノデアラウト存ジマスカラ、農工銀行ニハ附ケテナイノデアリ  
マス

○(喜多川孝經君) モウ一ツ御尋致シマスガ、信用貸ニシテ其資本ヲ使用ス  
ル事業ノ監督デゴザリマスガ、是ハドウ云フヤウニナサル御積リデゴザイマ  
スルカ、詰リ農民ノ團體ヲ以テ貸出等ノ人ヲ監視スルト云フヤウナコトハ、至  
極六ケシイコトデアラウト思ヒマスガ、是ニハ確乎タル何カ御見込ガゴザイ  
マスルカ、監督ノ御見込ガアツテ差支ナキヤウニ出來ルト云フ御考デゴザリ  
マスルカ、若シ其御見込ガゴザリマスルナラバ、一ツ詳細ニ承ツテ置キタウ  
ゴザリマス

○政府委員(添田壽一君) 農工銀行カラ借受ケマシタル資金使用ノ上ニ於  
テ、目的ニ反シタルコトガゴザイマスレバ、此法律ノ第二十條ニ直ニ償還期  
限ト雖モ、全部償還ノ要求ヲナスノ力ガ農工銀行ニ與ヘテアルノデゴザリ

○(喜多川孝經君) サウスルト、金ヲ取返スト云フノヲ以テ監督ヲスル……

○政府委員(添田壽一君) ソレハ貸シマスル時ニモ大イニ注意ヲ加ヘマシテ、此第二十條ハ愈々已ムヲ得ザル場合ニ行ナフ權力デゴザイマスルガ、其外ニモデス、銀行ガ自分ノ勤キノ上ニ於テ實際幾分カ監督ヲスルト云フコトハアル積リデアリマス

○(喜多川孝經君) 細カクサウスルト、コウ云フヤウナ監督ヲ以テヤレバ、サウ云フ憂ヲ逃ガル、コトガ出來ルト云ヤウナ、十分ノ御考ハナイノデスカ

○政府委員(添田壽一君) 其監督ニ就キマシテハ、農工銀行ノ自身ノ利益ニモ關スルコトデゴザイマスルカラ、契約ヲ結ビ、又結ンタル後ニ於テモ、農工銀行ガ己レノ自營上ニ注意ヨリ、事實ニ就イテ時々見分ヲスルトカ云フヤウナル手續ヲ定ムル上ニ於テ、目的ヲ達スル積リデアリマス

○(喜多川孝經君) ソレデハ續イテ伺ヒマスガ、過日モ河島君カラモ御質疑ガ出テ居リマシタガ、私モ一寸質疑致シマスガ、此信用組合ト云フノハ、前御尋申シタヤウナ危險ヲ避クルノ、私共ハ要具デアラウト考ヘテ居リマス、然ルニ此信用組合ト云フ其要具ガナケレバ、或ハ其信用貸ノ内、又法人杯ニ

貸シマスルノハ前ニ御答辯モゴザリマシタ監督官廳ノ行政權デ……組合マスルヤウナ方法モゴザリマスガ、據テ此二十人ノ團体ト云フモノニ貸與ヘルノデゴザイマス、若シモ今私共ハ、中產以下ノ利益ヲ圖ルニハ、二十人ノ團体ヲ以テ永年ノ金ヲ借りルト云フコトガ、最モ利益ノアルモノト考ヘテ居リマスガ、是ガ唯銀行者ノ見込ニ任カシテ置イテ、若シモ十分ニ見込ガ立タヌ時ニハ、マア貸サヌニ如カヌト云フヤウナ若シ傾キニナリマスルト、殆ド此中產以下ノ利益ト云フモノハ段々狹パンデ來テ、矢張此中產以上ノ資本家ノ利益ニナルト云フヤウナ結果ヲ來タスコトハアルマイカト、コウ實ハ考ヘテ居リマス、ソレデ此監督法トカ云フ、極ク其御見込ガアレバ承リタウゴザリマスガ、其點ニ於テハ何カ御腹案デモゴザリマスデセウカ、ゴザイマスルナラ、ソレ承ツテ置キタイ

○政府委員(添田壽一君) 御説ノ如ク、信用組合ト云フヤウナモノガ、若シ我國ニ存在致シテ居リマスルナラバ、ソレ等ノ點ニ就イテ餘程便宜ガ多イノデアリマス、然ルニ是ハ又自カラ他ノ立法事務ニ屬スルモノデアリマシテ、此法案ノ中ニ規定スル譯ニハ參リマセヌ故ニ、若シ時機ガゴザイマスルナラバ、成ルベク信用組合ノ如キモノノ成立スルト云フコトヲ、或ハ立法ノ力ニ依リ、或ハ其他ノ手段ヲ以テ務メタイト云フ希望ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、今茲デ明カニドウ云フ草案ガアルト云フ迄ノコトヲ申上ゲル迄ニ運ンデ居ラヌノデアリマス(喜多川孝經君) 尚承リマスルガ、抵當物件ガ流レ込メバ、銀行ハ其不動產ヲ所有スルト云フコトハ出來マイト思ヒマスルガ、然ル時ニハ之ヲマア公賣等ノ方法ニデモ由ツテ賣却セヌ

ナラヌト存ジマスルガ、此不動產ハ餘リ動產ノ如クニ公賣等ニハ至ツテ不便ナモノデゴザイマスルガ從ツテ、價格モ公賣等ノ時ニハ餘程銀行ノ損失ニナ

ラウト考ヘマスガ、是ガ損失ニナラヌ方法ガ何カ御見込デモゴザイマスルカ、又モウ一つハ、若シ此流レ込ムト云フヤウナ時ニハ、或ハ大資本家ノ之ヲ兼併スル所トナリテ、益財產不平均ノ媒介ヲナスヤウナコトニナルカモ知レヌト思ヒマスルカラ、之ヲ防グ方法ニ至ツテハ、餘程大事ナコト、思ヒマスルガ、ドウ云フ方法ニナリマスルカ、一應承リタイ

○政府委員(添田壽一君) 御説ノ如ク、此抵當物ノ流レ込ムト云フコトハ、土地抵當銀行ノ業務ノ上ニ於テ、餘程ノ是ハ難問題デアリマス故ニ先づ此貸付ケマスル前ニ、餘程注意ヲ密ニスルト云フコトガ大切デアルト存ジテ、例

ヘバ勸業銀行法ダケデ申上ゲマシテモ、初二貸出シマスル金額ハ、鑑定價格ノ三分ノ二以内トス、ソレカラ又第二十條ノ如キハ、法文ノ収益額カラ、公然ルニ此信用組合ト云フ其要具ガナケレバ、或ハ其信用貸ノ内、又法人杯ニ

意ヲ密ニシテ、他日左様ナル不幸ヲ見ルニ至ラザルコトヲ務メサスル積リデアリマスルガ、ソレデモ尙流レ込マヌトモ言ヘマセヌガ、其場合ニ於テハ已ムヲ得ズ此定款ニモ規定致シテ置キマシタル如ク、規定ト云フカ、試ニ書イテ置キマシタ如ク、勸業銀行定款ノ腹案第七十八條ノ第三項ニ「當銀行ハ不動產ヲ取得スルコトヲ得ズ但シ債務返済ノタメ若クバ其他ノ事由ニ因リテ當

銀行ニ交附セラレ、若クハ依嘱シタルモノハ此限ニアラズ前項但書ニ該當シタル不動產ハ一箇年以内ニ賣却シ難キ事由アルトキハ大藏大臣ニ其延期ヲ出願スベシ」規定致シテ置キマシタナラバ、先づ不動產ヲ持ツコトハナリマセヌケレドモ、流レ込ンダモノハ已ムヲ得ナイケレドモ、ソレラ無限ニ持ツト云フコトハ銀行ノ性質トシテ宜シクゴザイマセヌカラ、成ルベク早ク賣ラセル、尙又早ク賣レナイ場合ニハ、延期ヲ許スト云フ途ヲ開イテ置キマシテ、銀行ガ損ヲシナイヤウニ、又其土地ガ所謂富豪者ノ手ニ兼併セラレナイヤウニト云フコトヲ、出來ル丈ハ務ムル積リデアリマスケレドモ、或ハ場合ニ依リマシテハ其希望ノ通リニ總テ行ハレルト云フコトハ難

クルト云フ手段ヲ取ルノ他ナイト存ジマス(喜多川孝經君) モウ一つ伺ヒマスガ、此農業工業ノ定義ト云フコトヲ伺ヒタク、例ヘバ諸外國ニ於キマシテハ、牧畜ノ事業ハモ則チ農業ノ本旨トナツテ居ル所モアルソウデアリマス、日本ナドデハドウナツテ居ルカ、今デハ牧畜ノ事業ト云フモノハ、牧畜事業トシテ農業ノ内ニ這入ツテ居ラヌヤウデアリマスガ、矢張農業ノ内ニ牧畜事業ハ這入リマスカ、又工業ノ方ニ致シマスト、私共ノ方デヨウ茶ノ芽ヲ買ツテ製造シテ賣出スコトガアリマス、又桑

ノ芽ヲ買フテ養蠶シテ繭ヲ賣ルモノガアリマス、是等モ矢張工業ト云フ定義ノ中ニ這入ルノデアリマスカ、サウ云フ定義ノ上ニ就イテ明ラカニ分界ノ付イテ居ル所ヲ一ツテ置キタイ

○政府委員(添田壽一君) 別段此農業、工業ノ明カナル區別ト云フモノハ、隨分外國アタリデモ付イテ居ラヌヤウニ承ツテ居リマスデ、唯今御尋ノ牧畜ノ如キハ、先ヅ此法案ノ上カラ申シマスレバ矢張農業ニ這入ル積リデアリマス、ソレカラ茶ヲ製造スルトカ、或ハ生絲ヲ造ルト云フヤウナコトハ、先ヅ工業ノ方ニ入レテ差支ナイト云フ積リデ居リマス

○(工藤行幹君) 私ハ一寸質問シタインハ、此勸業銀行ノ五十七條、或ハ農業銀行ノ四十一條、是ニ利子ノ制限ハ大藏大臣ノ許可ヲ得テヤルト云フコトデゴザイマス、普通ノ利子ヨリ大凡ドノ位下ルト云フ目途デ、大藏大臣ハ之ヲ許可スル積リデアリマスカ、畢竟是レト云フモノハ、低利ノ金ヲ貸スト云フノガ主眼デゴザイマセウ、然ラバ世間普道ノ利子ハ、例ヘバ五分デアリマスレバ、ソレヨリ何割位下ゲテ定メル積リデアリマスカ、必ズ何歩ト云フコトハ極ラナイデゴザリマセウケレドモ、其當時ノ普通ノ利子ヨリハ幾ラ位下ゲテ之ヲ定メル見込デアルカト云フコトヲ承リタイ

○政府委員(添田壽一君) 今仰セラル、通ニ、此利子ト云フモノハ、時ノ資本ノ需要供給ノ有様ニ依リマシテ、變動極リナキモノデゴザイマスカラ、明カニ何歩ト云フコトヲ以テ御答スルコトハ出來マセヌノデアリマスルガ、先ヅ先達本會デモ御尋ノゴザイマシタノニ對シテ申上ゲマシタ如ク、一般ノ土地抵當ノ貸附ト云フヨリハ、先ヅ二歩位ハ安クシタト云フ希望デアリマス、尤モ此利子ハ債券ノ利子ノ差デ、銀行ノ利益が生ズルノデアリマスカラ、債券が安ク發行ガ出來マスレバ、モット下グラル、カモ知レマセヌケレドモ、是ハ色ニナル世間ノ間ヲ潛ツテ定メルノデゴザイマスカラ、ハツキリ何歩ト云フコトヲ確言申ス譯ニハ參リマセヌガ、凡ソ二歩位ハ下ゲタイト云フ希望ヲ持ツテ居リマス

○(新井毫君) 私モ政府委員ニ説明ヲ求メマス、既ニ日本銀行ノ設ケアリ、各國立銀行アリ、其私立銀行ガ起リマシテ、銀行ノ動キヲ致シタト云フ過去ノ實歴ト現在ノ有様デ無論分ツテ居ルノデアリマスガ、是ハ尤モ商業銀行ト認メテ宜シイモノデアツテ、而シテ戰後ノ大經營ヲナスニ方ツテ諸稅モ増加シ、又陸海軍モ非常ニ擴張センナラヌト云フ所デ、此農工業社會ニ向ツテ實業ヲ振作ヲナヌタメニ、此法案ヲ此議會ニ見ルト云フコトハ、頗ル經濟上ノ有様、又國家内外ノ形勢ニ於テ自分等ハ喜ブ所デアリマスガ、又一方カラ見マスルト、利益が大ナル丈、又害モ隨分アルト見ナケレバナラヌ、就中此法案ノ仕組ニ依ツテ段々勘考シマスルト、勸業銀行ト農業銀行ト聯關シテ、中央ト地方ノ農工業ヲ獎勵スルト致シマシタ所デ、勸業銀行ニ於テハ十倍ノ債券ヲ發行スルコトヲ得、又農工銀行ニ於テハ五倍ノ債券ヲ發行スルコトヲ得ルト云フ、斯ウ云フ仕組ヲ見マスルト、事實壹圓ノ金ガ勸業銀行ニ於テハ十倍ノ動キヲナスヤウニナル、又農工銀行ニ於テハ五倍ニ使ヘルヤウナ形ニナルカラシテ、法律ニ依ツテ其資本ノ動キヲ非常ニ程度ヲ高カラシムルト云

フ結果デアルカラシテ、此法案ノ目的通りニ、我日本ノ國家ガ平和デ經濟上ノ變動ガナケレバ、固ヨリ十分ノ結果ヲ奏スルコトガ出來マスケレドモ、種種ノ事情ニ於テ、若シモ經濟上ニ大波瀾ノ來タトキニハ、隨分危險モ多イト見ナケレバナラナイ、サウ云フヤウナ點ニナリマスルト、一ノ農工銀行ナリ或ハ勸業銀行ノ不利益ナコトガアルト云フト、此機關ニ依ツテ仕上ツタ農工業ト云フモノヲバ、將棋倒シニ倒レルト云フ憂ナシトハシマセヌ、此法案通リ實行シテ往ツテモ、隨分利益ナコトデアルト云フコトハ無論デアリマスケレドモ、サウ云フヤウナ將來ノ大變動ニ依ツテ、或ハ是アルガタメニ、勸業銀行農工銀行アルガタメニ、社會ヲ大イニ紊亂スルト云フ場合ガナイトモ限ラナイト信ズルノデアリマス、就イテハ其邊ニ就イテハ將來ノ變動方法等ニ就イテハ、當局者ニ於テハ別ニドウ云フ明文モナイデアリマスガ、格別ノコトハナイト云フ御見込デアリマスカラ、ドウ云フコトデアルカ、一應承ツテ置キタ

○政府委員(添田壽一君) 是ハ極ク重大ナル御尋デアリマシテ、極ク簡略ニ輕々シク御答スルニハ難澁ヲスル位大キナ御尋デアリマスガ、將來經濟上ノ變動ニ依リマシテ、ソレハまあ如何ナル事が生ゼヌト云フコトハ、鬼神ニアザレバ證明ヲ申上ゲル譯ニハ參リマセヌガ、既ニ申上ゲマシタ此三分ノ二ノ貸附ト云フモノハ、多少他日ノ變動ヲ見込シテカラ設ケタ箇條デゴザイマス、鑑定價格ト云フモノヲ餘程嚴密ニ致シマスカラ、其鑑定價格ト云フモノガ、三分ノ二モ喰込ムヤウニ劇烈ナル經濟上ノ變動ガアレバイザ知ラズ、先づ三分ノ二位マデニ止マリマスモノナラバ、別段此勸業銀行農工銀行ノ存立ノ上ニ懸念スペキコトハナインデアリマス、隨ツテ此銀行等が發行致シテ居リマス債券ト云フモノハ、既ニ申上ゲマシタ如ク、或ハ不動產、或ハ其他確カナル抵償物ガアリマスル故ニ、まるテ空一ナリマスルト云フヤウナコトハ、大劇變ガナクンバ今申上ゲマスル如クナイト申上ゲテ宜イト考ヘマスカラ、我國ノ例ヘバ地價ガ半分ニナツテ仕舞フトカ、或ハ家屋ガ殆ンド半額ノ價ヲ失フト云フガ如キ、一朝劇烈ナル變動ガ俄ニ起レバイザ知ラズデゴザイマスガ、先づ大概ノ經濟上ノ變動ハアリマスルトモ、此銀行ノ營業ハ大イナル損害ハナク、又發行シマスル其債券ガ全ク空ナ物ニナルト云フガ如キコトハナカラウト存ジマスノデ、ソコ等ハ主トシテ注意ヲ加ヘナケレバナラヌノハ、貸附ケル價格ノ割合デゴザリマスルカラ、或ハ新井君ノ御懸念ニ依リマシテ、他日三分ノ二位ノ變動ヲ見込シテ置イタデハ、不足デアルト云フ御考ナレバ、ラウト存ジマスノデ、ソコ等ハ主トシテ注意ヲ加ヘナケレバナラヌノハ、貸附ケル價格ノ割合デゴザリマスルカラ、或ハ新井君ノ御懸念ニ依リマシテ、他日三分ノ二位ノ變動ヲ見込シテ置イタデハ、不足デアルト云フ御考ナレバ、

○(新井毫君) 尚御尋ヲ致シマス、此勸業銀行法案ノ第十五條ニ、日本勸業銀行ハ府縣郡市町村其他公共團體ニ貸附ヲ爲ス場合ニ於テ抵當ヲ徵セザルコ別デゴザイマスガ、先づ此位ノコトヲ豫測致シテ置キマシタラ、非常ナル變動ガナクシテ、左程ノ困難ハ感ジマイト云フ見込デアリマス

○(新井毫君) 尚御尋ヲ致シマス、此勸業銀行法案ノ第十五條ニ、日本勸業銀行ハ府縣郡市町村其他公共團體ニ貸附ヲ爲ス場合ニ於テ抵當ヲ徵セザルコ別デゴザイマスガ、先づ此位ノコトヲ豫測致シテ置キマシタラ、非常ナル變動ガナクシテ、左程ノ困難ハ感ジマイト云フ見込デアリマス

セザルコトヲ得ト云フコトニナツテ、若シモ抵當ヲ取ラズシテ公共團體ニ貸附ケテ、其償還法ノ通り著々償還シテ來レバ、固ヨリ差支ナイ話デアリマスケレドモ、其償還法ガ其町村若クハ公共團體ノ事情、若クハ事故變動等ノタメニ出來ナイ場合ニハ、ドウ云フ風ニ是ハナル御見込デアリマスカ、其邊ヲ承ツテ置キマス

○政府委員(添田壽一君) 今ノ御尋ニ對シマスルト、答辯ハ今朝河島君ニ對シテ補ヒ旁、申上ゲマシタ事柄ヲ申上ゲマスレバ、御答ニナラウカト存シマス、既ニ此府縣都市町村水利組合ノ如キハ課稅權ヲ持ツテ居リマス

○(新井毫君) 宜シウゴザイマス、河島君ノデ……此農工銀行法案ノ方ノ第六條ノ第一第三ニ就イテ説明ヲ求メマス

○委員長(石田貫之助君) 新井君、唯今ハ勸業銀行ノ方ノ總体ニ就イテ質問ヲ起シテ居ルノデス

○(新井毫君) ソレハサウ心得テ居リマスガ、先キカラ農工銀行ト聯關シテ尋ネテ居ルカラ差支ナイト心得テ居リマシタ

○委員長(石田貫之助君) 是ニ關聯スルコトハ共ニ先日カラ質問シテ居リマスガ、成ルベクハ聯關シナイコトハ各別ニ質問ヲ致シタイト極メテ居リマス

○(新井毫君) ソンナラ宜シウゴザイマス

○(前川慎造君) 此勸業銀行法案ノ第三十四條ノ債券ノコトデゴザイマスガ、此拂込金額ノ十倍ヲ限ツテ勸業債券ヲ發行スルコトガ出來ルト致シマス

○(前川慎造君) 此勸業銀行ガ募集シ終ツタ時分ニハ、壹億圓ノ債券ガ現ハレテ來ル、此債券ハ何ト同ジク矢張公債證書ノヤウナ体裁デアリマスルカラシテ、日本銀行ガ擔保ニ取ルト云フ譯ニナツテ居リマスカ、此債券ノ融通如何ニ依リマシテハ、非常ナ害ヲ及ボシテ來ルデアラウト考ヘマス

○政府委員(添田壽一君) 過日本會ニ於テモ高木君カラ御尋ガゴザイマシタ時ニ、御答ヲ申上ゲタヤウニ存ジマスガ、擔保ニハ取り得ルト考ヘマス

○(前川慎造君) 尚ソレカラ此三十七條ノ勸業債券借換ノタメニ、一時第三十四條ノ制限ニ限ラズ低利ノ勸業債券ヲ發行スルコトヲ得ト、低利ノ此勸業債券ト申シマスルト、例ヘバ悪ルク言ヘバ富ニ類スルト云フ工合ノ仕組ニナツテアリマスカ、ドウ云フ都合デスカ、一寸其性質ヲ能ク……

○政府委員(添田壽一君) 是ハ決シテ富ノヤウナモノヲ得ハゴザリマセヌノデ、例ヘバ債券ノ利子ヲ先づ五分トシテ居リマシタ、所ガ段々此一般ノ金利ガ下ガリマシテ、市場ノ利子ガ大ニ下落ヲ致シマスルタメニ、五分デハ高過ぎルト云フヤウナ場合ニ、四分ノ債券ヲ發行スト云フヤウナ時ノタメニ設ケタ借換ヘ、所謂整理公債ノヤウナモノ、積リデゴザリマス

○(前川慎造君) サウスルト、一月以内ニ償還スルト云フヤウナ、極ク短イ期限ニナツテ居ルヤウニ思ヒマスガ……尚續イテ伺ヒマスガ、此附則ノ設立委員ト云フモノヲ置イテ、法律ノ事務ヲ取扱ハセルト云フコトニナツテ居リ

マスガ、此創立ニ就キマシテハ餘程面倒デアラウト考ヘマスガ、其設立委員ノ如何ニ依リマシテハ、株ノ募集方トカ、總テノ事ガ一切設立委員ニ於テ取扱フト云フコトニナラウト考ヘマスガ、募集方等ニ就キマシテモ、現今ノ形勢カラ考ヘマス、多數ノ希望者モアラウト考ヘマスガ、例ヘバ設立委員ト云フ者ニ就イテハ、大變重キヲ置カナケレバナラヌコトノヤウニ考ヘマスガ、ドウ云フ仕方ニ依ツテ此設立委員ト云フモノヲ御設ケニナルノカ、設立委員ヲ設ケル手續ヲ一應承リタ

○政府委員(添田壽一君) 御說ノ通リニ此設立委員ハ、餘程是ハ重キヲ有スル者デゴザイマスカラ、此法律ノ上ニ設ケテアリマスル制限以内ニ於キマシテ、則チ持ツベキ株等ノ制限以内ニ於キマシテ、大藏大臣ハ成ルベク名望モアリ、若クハ經驗モアルト云フ人ヨリ、公平ノ眼ヲ以テ選定ヲスル積リデアリマス、今其人名ヲ誰某ト云フコトヲ申上ゲルコトハチト出來兼ネルノデアリマス

○(前川慎造君) 固ヨリ其誰某ト云フ名前ヲ承ハラウト云フノデハゴザイマセヌガ、其取方デスナ、所謂此全國ノ商工業者ト云フモノヲ加ヘテ取ルト云フコトニナルノカ、或ハ官吏ノ側デ取ルト云フノカ、或ハ官吏ト實業家ト兩方ヲ交ゼテ取ルト云フノカ、又其取り方ハ廣ク全國ニ通ジテ選ブト云フコトニナルノカ、或ハ東京トカ何トカ云フコトニナルノカ、其邊ノコトモ一應詳ニ承ツテ置キタイ、

○政府委員(添田壽一君) 實ハ此事ハ餘程其關係ヲ廣ク及ボス點デゴザイマスカラ、成ルベク今日ハ私ノ短イ答ヲ以テ、御容赦アランコトヲ希望シマスルノデ、官吏バカリデハナイ積リデゴザイマスガ、如何ナル種類ノ人ト云フコト迄ハ少シク話シ及ボシ兼ネルノデアリマス

○(前川慎造君) 如何ナル種類ノ人ト云フコトハ、先ニ御話ニナツタ名望アル經驗アル者ト云フノデ満足ヲ致シマスガ、其採リ方デスナ、矢張其廣ク此商工農者ノ中デ名望アル人ヲ採ルト云フ譯ニナルデスカ、成程御話ヲ詳細ニ承ハルコトハ、或ハ幾分ノ嫌ガアルカ知レマセヌガ、其設立委員ノ置キ方ニ依ツテハ、非常ナル弊害ガ生ジテ來ヤウト思ヒマスカラ、立入ツテ御尋ヲシテ置キタイノデアリマス

○政府委員(添田壽一君) 成ルベク是ハ公平ニ致シタイト云フ考デゴザイマスカラ、餘リ其所謂實業ニ大關係ノアルト云フヤウナ人ハ、少シク如何アランカト思ヒマスノデ、成ルベク此銀行ノ設立ノ目的ヲ達シ、銀行創立ノ趣意ニ適フヤウナ人ヲ得タイト云フ考ヘデアリマス

○委員長(石田貫之助君) 此總體論ハ最早餘程無クナツテ、各條ニ就イテノ質問デアリマスガ……

○(工藤行幹君) ソレニ就イテ一寸申シタイ

○委員長(石田貫之助君) マダ總體ノ質問ガアリマスカ

○(工藤行幹君) 私ノ一ツ此總體ニ就イテノ政府委員ノ御意見ヲ一應承ツテ

置キタノハ、先刻ノ同ツタ利子ノ所ガ、普通ヨリ二歩位廉ク貸スト云フコトデゴザイシタガ、ソレト云フノハ此今ノ社債ト云ヘバ宜シイガ、此債券ハ安ク之ヲ借入レルコトガ出來ルナラバ、其事が必ズ政府委員ノ今言ハレタ通り出來ルデアリマセウガ、此債券ヲ得ルノハ、其得ル所ニ依ツテノ或ハ日本銀行トカ、何トカ云フヤウニ銀行デモ兌換券デモ發行スルニ宣イヤウナ所ナレバ、餘程安ク社債ニ應ジ得マセウケレドモ、普通ノモノカラ言フテ見マシタナラバ、今日公債證書ハ五歩ノ利息ヲ以テ、公債ヲ募ツテ居ル、ソレヲ此農業銀行ナリ、勸業銀行ナリデ募ルト云フコトニナツタナラバ、恐ラクハ一般ノ人ノ信用カラ言ツタナラバ、公債證書ヲ募ルヨリ利息ガ高イナラバ應スル者ハアリマセウケレドモ、安クテハ是ハ新ナルモノデアルシ、容易ニ應マスカ、其御見込ヲ一應承ツテ置キタイト云フノデアリマス

○政府委員(添田壽一君) 唯今仰セラレマスル通り、ナカニ始メテノコトデモアリマスルシ政府ノ公債ヨリ安ク借ラレヤウト云フコトハ、無論思ハルトカ云フコトヨリハ、もつと安ク此社債ヲ募ルニ宣イ見込ガアルノデアリマスカ、

○(工藤行幹君) 唯今仰セラレマスル通り、ナカニ始メテノコトニ所謂割増金ト云フコトヲ附ケル道が開イテ來ル、此割増金ト云フモノガアリマシタラ、或ハ例ヘバ五歩ノ如キ率デモ募ラレナイ限リデハナカラウカト思フノデアリマスガ、是モ市場ノ狀況ニ依ルコトデアリマスカラ、必ズ何歩デアルト云フコト迄ハ、明言ハ出來ナイノデアリマス

○(工藤行幹君) 唯今御答ニ依リマシテモウ一應承リタイ、成程此銀行ガ澤山設カツテ、ソレデ割増ヲ澤山ヤルニ宜イナレバ、ソレデ宜イデアリマスガ、始メ起ス時ハソレ等ノコトモナイ、シテ見マスト云フト公債ヨリ高ク社債ヲ起スヤウナコトナラバ、ドウシテ貸附ケル方ニハ、一般ノ貸附ヨリハ二歩位ハ安ク貸スト云フノハ、ドウ云フ所カラ生ジテ來ルノカ、ドウモ其點ガ解シ難イノデアリマスカラ、今政府ノ言ハレル通り、始メ募ル時ハ高イ利息ヲ以テ募ラナケレバナラヌト云フナレバ、貸附ノ方ヲ二歩モ安クシテ、ソレデ利益券ヲ發行シマスル時ニハ他ニ利益ヲ生ズル原因ハアルノデ、ソレデ、ソルト云フ計算ガ出ルヤウニ思ヒマス

○(河島醇君) 今ノ割増金ハ、所謂口取あぶりげーよんヲ起ス積リデアリマセウネ、是ハ一ツノ大問題デアル、則チ當籤法ノ債券ヲ發行スルノダ、歐羅巴デハソレヲヤツテ居リマス、諸君ハ御承知デアリマセウ、即チ田口君ハ御承知デアラウト思フ、前ニ東京府ニ富籤法ノ公債ヲ起サウトシタコトガ

アル、貳百萬圓カ、何カ、ソレハ何デアルカト云フト、普通ノ利益ガ、今日六朱ノ利息ガ無ケレバナラヌ、其時四分ナラ四分、三分ナラ三分ノ利息ニシテ、アトノ六分ハ拂フベキモノヲ三分ヲ取除ケ、例ヘバ甲ニ當ツタ者ハ壹萬兩——乙ニ當ツタ者ハ壹萬兩、丙ニ當ツタ者ハ五千兩トカ、其割合デ富籤デ當ル、ソコデ人が其富ニ當ルコトヲ欲スルガ故ニ、餘程安クテ應ズルノデアリマス、多分其法ヲヤルト云フノデアラウト思フ、是ハ私ハ聞カウト思ツテ居ツタ

○(工藤行幹君) 今ノヤウナ、富籤ノヤウナ鹽梅ニシテ安クスルノデスカ、ソレヲ能ク承ツテ置カヌト困ル

○(政府委員(添田壽一君)) 決シテ富籤ト同視セラレテハ、甚ダ此案ノタメニ惜ムノデアリマシテ、富籤トハまるデ違フ、斯ウ云ウ仕組ノ積リデアリマス、唯今河島君ノ仰セラレタル東京府ノ例ノ場合トモ達フモノデアリマス、詰リ事實ヲ假定シテ申シマスレバ、例ヘバ債券ノ利子ヲ五分トシマシテ、一般ノ債券所有者ハ矢張五分ノ利ヲ得テ償還ガ來レバ、百圓ナラ百圓ノ償還ヲ受ケル積リデアリマス、併シ此銀行ノ利益ノ内カラ、幾分ヲ割増金ノ元金ニ取ツテ置キマシテ、此百株——例ヘバ一籤當ル者ガアルト假定シマシタ所デ、甲、乙、丙、丁ト云フヤウナ段階ヲ附ケマシテ、甲籤ニハ百圓ニ付貳拾圓、乙籤ニハ拾圓ヤル、丙籤ニハ五圓ヤルト云フノデ、即チ富籤ト異ルモノハ、富籤ハ當ラヌ者ハ何ニモ取ラヌ、是ハ一般ノ元金ト一般ノ利率ハ約束通リニ拂フ、銀行ノ利益ガ多イタヌニ、或籤ニハ特別ニ償還ノ際ニ割増金ヲ附與スルト云フノデアリマスカラ、富籤ト御同視ナラヌヤウニ希望致シマス

○(高木正年君) 私ハ此第三十四條ニ就イテ、先刻前川君ノ御尋ガアツテ私ハ本會デモ聞キマシタガソレニ就イテ能ク御尋致シタイコトガゴザイマス、先刻新井君ノ質問モゴザイマシタガ、一体此勸業銀行ト云フモノガ真ニ成立ツテ、國ノ農工業ノ發達ヲ爲スト云フコトハ誠ニ結構ナコトデゴザイマスケレドモ、或場合ニ於テハ反對ノ結果デ、此農工銀行ノアツタヌニ非常ナ大ナル波瀾ヲ起シ易キ傾キヲ持タセルト云フコトガ將來ニ起リハセヌカト思フノハ、則チ三十四條ノ債券ノ信用如何ト云フコトデアル、今迄ノ田地ノ價格ナドハ、縱令金利ノ上ニハ多少價格ハ響キマスルケレドモ、極ク其小部分、小部分デノ賣買ノ價格デ、例ヘバ或村ニ於テハ、金持ガ多ケレバ自然田地ガ高イト云フ位デ、田地ノ價格モ出來テ居ル、サリナガラ斯様ニ農工銀行、勸業銀行ガ出來、總テノ機關ガ備ハツタ以上ハ、田地ノ價格ト云フモノモ矢張金利ノ上ニ支配サレルト云フ傾キヲ持ツハ當リマイデアル、殊ニ國債モ三十四年、三十五年ト云フ歲ハ殊ニ五億ニ達スル有様ニナツテ參リマス、總テノ有價證券モ澤山殖エテ參ル、流通貨幣ヨリモ有價證券ガ殖ヘテ參ツテ、動モスレバ此金利ノ非常ニ暴騰シ、若クハ又はニ使ツテ變動ノアリ易キ時代ニ段々向イテ參ル、其時分ニ此勸業銀行ガ、資本ノ則チ壹千萬圓ヲ全ク拂込シテ、一體此銀行ハ性質カラ申シマスレバ、資本ヲ少ナク積ンデ置クヨリモ、多ク利

益ガアツテ、株主ガ満足スルト云フ傾キヲ持ツテ居ルカラ、四分ノ一デナクシテ、株金全體ヲ拂込ミ易キ性質ヲ持ツテ居ル、其時ニ壹億萬圓ノ債券ヲ發行スルコトニナル、之ニ向ツテ日本銀行ガ擔保セラバ、此銀行ノ債券ノ信用ハ落ルコトハ當リ前デアル、如何ナル程度マテ此擔保ノ價格ヲ持ツコトガ出来ルカト云フコトハ、今日考ヘテ置カヌト、却テ其銀行ノナイ時代ハ總テノ波瀾ヲ起シ惡イモノモ、此銀行ガ出來タメニ農工銀行ハ債券ヲ發行シ、其債券ガ悉ク勸業銀行ニ集ツテ來タ時ニ、非常ニ金利ノ騰ル時ニ其債券ハ發行シ得タガ、其債券ガ下落スルト云フト、非常ナ波瀾ヲ起スト云フ弊害ヲ受ケナケレバナラナイ、此場合ニハドウシテモ日本銀行ハ十分ナ責任ヲ持ツテ、此債券ニ對シテハ、飽クマデモ整理公債ノ確實ナル擔保品ト認メル如ク、何時デモ拒絶シテ割引ヲ爲スコトガ出來ナケレバ、決シテ此勸業銀行ハ立ツモノデナイト思フ、日本銀行ガ其時擔保品ニナツテモ、實際ハ拒絕シテヤルト云フヤウナコトナラバ、逆モ信用ヲ保タヌ、却テ債券ヲ發行シ得タ結果丈ケガ世ノ中ニ害ヲ及ボシ總テノ恐慌ヲ來タスコトニナリハセヌカ、債券ヲ發行シタ以上ハ、日本銀行ハ此擔保ニ向ツテハ、他ノ營業中ノ孰レノ金額ヲ妨げテモ、此方ニ向ツテハ、十分日本銀行ハ責任ヲ以テヤルト云フ決心ヲ聞カザル以上ハ、吾々ハ勸業銀行ノ擴張ニ付テ安心シテ爲スコトハ出來ヌ、ソレカラ、ソレニ就イテ尙御答辯ニ依ッテ押返シテ伺アカモ知レマセヌガ、其事ハドウカ吾々ノ安心スル丈ケノ答辯ヲ得タイ、ソレカラ序ニ補給デアリマス、五十五條ニ資本金ノ百分ノ五ニ達シナイ時ニハ、政府ガ之ニ向ツテ補給スルト云フ箇條ガアル、此補給ト云フモノハ、今添田君ガ云ハレタ割増金ト云フ時ニドウ云フ關係ヲ持ツノデスカ、此割増金ト云フノハ、勸業銀行ノ利益ガ百分ノ五以上ニ達シタ時ニ、其達シタ中カラ割増金ヲ債券發行者ニヤルト云フコトニナルノデスカ、其處ヲ一寸伺ツテ置キタイ、多分サウトハ思ヒマスガ……

○政府委員(添田壽一君) 御答ヲ致シマスガ、此勸業銀行ノ債券ヲ、日本銀行ノ擔保品ニ加フルト云フコトハ出來得ルコトデハアラウト存ジマス、併シ根底ニ於テ少シク見解ヲ高木君トハ異ニシテ居リマスノデ、我國ノ現狀ハ所謂確實ナル資本ヲ投ジマス道ガ乏シイタメニ、少シク金融が緩漫ニナルト、公債ノ如キハ非常ニ價格ヲ上ゲル、日清戰爭前ノ如キハ百拾圓近クモナツタ位デアリマシテ、是ハ餘程ノ經濟上好マシカラヌ現象ト言ハナケレバナリマセス、ソコデ公債ノ價格ガ高クナリマスマニ、公債ガ手ニ入ラヌカラ已ムヲ得ス、極ク不確實ナル事業ニ資本ヲ投ズルト云フ結果ニナル、詰リ我國ノ今日ノ經濟ノ發達ト云フモノハ、安全ナル資本ヲ投ズル途ノ少ナキニ第シテ居ルト云フ位ニ見テ宜カラウト思フノデアリマスカラ、即チ此勸業債券ナリ、農工債券ナリト云フモノヲ以テ、其必要ニ應ジタイト云フ積リデアリマス、ソレデ必ズシモ日本銀行ガ擔保ニ取ラナクトモ、此勸業、農工債券ノ需用ハ十分アリ得ルト云フ積リデアリマスカラ、ドウシテモ日本銀行ニ依頼シナケレバ成立タヌト云フ假定ニ基イテノ御考トハ、少シ本ガ違ヒマスカラ、日本

銀行ガ此債券ヲ擔保ニ取ルト云フコトヲ十分世話ヲスルト云フコトガ必要デシテ、株金全體ヲ拂込ミ易キ性質ヲ持ツテ居ル、其時ニ壹億萬圓ノ債券ヲ發行スルコトニナル、之ニ向ツテ日本銀行ガ擔保セラバ、此銀行ノ債券ノ信用ハ落ルコトハ當リ前デアル、如何ナル程度マテ此擔保ノ價格ヲ持ツコトガ出来ルカト云フコトハ、今日考ヘテ置カヌト、却テ其銀行ノナイ時代ハ總テノ波瀾ヲ起シ惡イモノモ、此銀行ガ出來タメニ農工銀行ハ債券ヲ發行シ、其債券ガ悉ク勸業銀行ニ集ツテ來タ時ニ、非常ニ金利ノ騰ル時ニ其債券ハ發行シ得タガ、其債券ガ下落スルト云フト、非常ナ波瀾ヲ起スト云フ弊害ヲ受ケナケレバナラナイ、此場合ニハドウシテモ日本銀行ハ十分ナ責任ヲ持ツテ、此債券ニ對シテハ、飽クマデモ整理公債ノ確實ナル擔保品ト認メル如ク、何時デモ拒絶シテ割引ヲ爲スコトガ出來ナケレバ、決シテ此勸業銀行ハ立ツモノデナイト思フ、日本銀行ガ其時擔保品ニナツテモ、實際ハ拒绝シテヤルト云フヤウナコトナラバ、逆モ信用ヲ保タヌ、却テ債券ヲ發行シ得タ結果丈ケガ世ノ中ニ害ヲ及ボシ總テノ恐慌ヲ來タスコトニナリハセヌカ、債券ヲ發行シタ以上ハ、日本銀行ハ此擔保ニ向ツテハ、他ノ營業中ノ孰レノ金額ヲ妨げテモ、此方ニ向ツテハ、十分日本銀行ハ責任ヲ以テヤルト云フ決心ヲ聞カザル以上ハ、吾々ハ勸業銀行ノ擴張ニ付テ安心シテ爲スコトハ出來ヌ、ソレカラ、ソレニ就イテ尙御答辯ニ依ッテ押返シテ伺アカモ知レマセヌガ、其事ハドウカ吾々ノ安心スル丈ケノ答辯ヲ得タイ、ソレカラ序ニ補給デアリマス、五十五條ニ資本金ノ百分ノ五ニ達シタ時ニハ、政府ガ之ニ向ツテ補給スルト云フ箇條ガアル、此補給ト云フモノハ、今添田君ガ云ハレタ割増金ト云フ時ニドウ云フ關係ヲ持ツノデスカ、此割増金ト云フノハ、勸業銀行ノ利益ガ百分ノ五以上ニ達シタ時ニ、其達シタ中カラ割増金ヲ債券發行者ニヤルト云フコトニナルノデスカ、其處ヲ一寸伺ツテ置キタイ、多分サウトハ思ヒマスガ……

○(高木正年君) 唯今添田君ノ御答辯ガアリマシタガ、三十四條ノコトデスガ、私ハ勸業銀行ノ出來タ結果ニ就イテ御尋申シタノデ、左様ナコトガ將來起ルデアラウト云フ考デ勸業銀行其モノ、性質ハ能ク分ツテ居ル、其見解ガ違フタメニ議論ヲスルノシヤアナイ、勸業銀行ガ行ハレテ債券ヲ發行シタ時ニ、日本ノ經濟社會ニ向ツテ一億萬圓ノ公債ヲ募集シタ所同ジ結果ニナル、四億萬圓ノ時ハ金利ガ五分デ、百圓ガ百圓デ募レタガ、九拾五圓ニシカ募レヌト云フ時ニ、壹億萬圓ノ債券ガ出タ時ハ、金利ノ上ニ非常ノ響キガ來ル、其時ハ非常ナ暴落ガ來ルカモ知ラヌガ、此債券ヲ持ツタ人ニ迷惑ヲ掛ケル、其時ノ救濟策ハドウスルカ、日本銀行ガ引受ケレバ斯様ナ變動ハ來マイガ、ドウスルカト云フ質問ヲシタノデ、質問ノ要領ノ根底ヲ誤ツタノデナク、此銀行債券ヲ發行シタ結果ノ上ニ就イテ御尋フシタノデアル、割増金ノコトハ分ラヌガ、モウ一度熟讀シタ上ニ尙尋ルコトニ致シマセウ

○委員長(石田貫之助君) 休憩時間モ過ギマシタカラ、今日ハ是デ會ヲ閉マセウ

## 午後零時十五分散會

## 衆議院勸業銀行法案委員會速記錄第一號正誤

正誤		正誤		正誤	
農商著	農工者	農業銀行ノ第	農工銀行第二十	農工銀行	農工銀行
二十八	二十人	三七	三十五	五	五
各信用	對人信用	六	一	六	六
物件	物權	六	一	六	六
八箇年	特權	六	一	六	六
ノヲ益スル	百箇年	六	一	六	六
借リ	ヨリ一分増ス	上	四	上	四
限リ		二	二	二	二
六	六	六	六	六	六
上	六	六	六	六	六
二〇	居ル	地方	地方	居ル	居ル
	事業		事業		事業